

令和五癸卯（みずのとう）年  
皇紀二六八三年  
佛紀二五〇八年

## 清らかな国土 白鳳伽藍

令和五年一月法話 薬師寺 管主 加藤 朝胤

### 佛教公伝

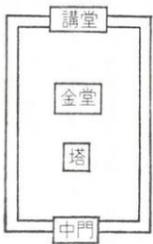
『日本書紀』説  
欽明天皇十三年（五五二）十月に百済の聖明王が使者を使わし、佛像や經典や佛具が伝えられた。

『上宮聖徳法王帝説』（八二四年以降成立）や『元興寺伽藍縁起并流記資材帳』（七二四）説

欽明天皇御代の「戊午年」（五三八）に百済の聖明王から佛教が伝来した。  
公伝以前既に民間交流による信仰として佛教は伝来していたと考えられている。

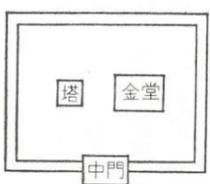
### 伽藍配置

四天王寺式



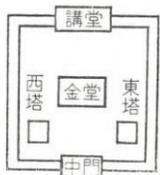
四天王寺は、推古天皇元年（五九三）建立  
物部守屋と蘇我馬子の合戦の折り、崇佛派の蘇我氏についた聖徳太子が四天王像を安置する寺院を建立しこの世の全ての人々を救済すると誓願され建立された。

法隆寺式



法隆寺は聖徳太子ゆかりの寺院で『上宮聖徳法王帝説』から推古十五年（六〇七）建立金堂、五重塔を中心とする西院伽藍と、夢殿を中心とした東院伽藍に分けられる。西院伽藍は、現存する世界最古の木造建築物。

薬師寺式



薬師寺は天武天皇九年（六八〇）天武天皇が皇后の病氣平癒を願って建立。  
平城遷都に伴い現在地である西ノ京に移転。現在飛鳥の薬師寺は本薬師寺といわれる。

## 造寺造佛とお写経

### 三月十七日はお写経の日

天武二年（六七三）三月十七日、写経生を集めて、川原寺で初めて一切経の写経をはじめられた。  
『日本書紀』

聖武天皇は佛教を篤実恭敬し奨励したため、広く隆盛を来しました。そのため更にお写経が一段と盛んになり官立の写経所が設けられ、専門の写経生たちによって、国家事業としてのお写経が行われました。

### お写経

お写経とは、佛教において經典を書写する事、又は書写された經典の事。  
お写経は、印刷技術がなかった時代に、佛法を広めるためや、修行・講義・研究するために必要なものであります。

### お写経の功德

この経を受持し、読誦し、解説し、書写し、説の如く修行すれば、よく大願を成就す『法華経』

お経は文字を見るだけでも功德があり、声に出して読誦すれば更に大きな功德が得られると言われています。自らの手で一文字一文字をお写経すれば、一文字書写することによって佛像を一体作ることに同じ功德があると言われています。

### 薬師寺のお写経の特徴

- ① 宗教宗派を問いません
- ② 薬師寺お写経道場でいつでもお写経ができます
- ③ 般若心経 薬師経 唯識三十頌のお写経があります
- ④ 筆だけでなく鉛筆でも書写できます
- ⑤ 一度に全部書き上げなくても分けて書写することもできます
- ⑥ 家族や友人と揃って書写することもできます
- ⑦ 御祈願の内容は自由で一つには限りません
- ⑧ ご納経して頂くと永代供養いたします
- ⑨ ご納経三巻目よりご納経集印帳を贈呈します